

# 石川准教授の著書評価

## 有明高専 九州工学協会が表彰



受賞した石川准教授

影響を与えていると思います」と話した。石川准教授は、今後は佐賀大の教職員や若手の研究者と共同で電子回路について執筆活動もしており今年中に出版される予定。

有明高専電子情報工学科の石川洋平准教授(三十六)が著書「よくわかる最新電子回路の基本と仕組み」で九州工学協会から評価を受け、協会賞を受賞した。「工業高校、高専の二、三年生からを対象にした参考書。学生たちからも電子回路の基本が分かりやすいと喜ばれています。そのことが評価されたのでは」と石川准教授。

「よくわかる最新電子回路の基本と仕組み」はコンピューター、ビジネス本出版会社の秀和システム刊。電子回路の基本となる本を出版したいと石川准教授が考えていたところ、同社の編集者から依頼があり、二年前の七月に出版した。インターネット書

籍販売「アマゾン」の電子回路分野で売り上げ一位にも輝き、これまでに「専門書で二千部売れるとベストセラー」といわれる二千部が売れたという。石川准教授は「八女工業高、佐賀大学、大学院を経て、有明高専に着任したのですが、これまでの経験を踏まえた内容になっています。本は私の研究室に在籍する学生も基礎をしっかりと固めたいときに使っており、学生たちにも良い